V 消費生活関連資料

1．全国の商品テスト概要

1 苦情処理テスト

2009年度に都道府県で38センター、政令指定都市で11センター、市区町で91センターおよび国民生活センターで実施された苦情処理テストの総件数は1,395件であった。

テスト機関数は141機関で、2008年度より1機関増加した。総件数は2008年度より9件増加し、0.6％の増となっている（**表3**）。

商品分類別に見たテスト件数は、「住居品」の苦情処理テストが最も多く391件（28.0％）、次いで「被服品に関するクリーニング」358件（25.7％）、「食料品」151件（10.8％）、「被服品」147件（10.5％）でこの4種類で約75％を占めており、これらに続いて「教養娯楽品」「保健衛生品」「車両・乗り物」「土地・建物・設備」の順番である（**表1**）。

次に、テストの効率化や処理能力を持たないなどの理由で、外部依頼により処理されたものは、苦情処理テスト総件数1,395件のうち642件で、外部依頼の割合は46.0％となっている（**表1**）。外部依頼件数を商品分類別に見ると、「住居品」が232件と最も多く、次いで、「被服品に関するクリーニング」141件、「教養娯楽品」が71件の順である。外部依頼依存率は「光熱水品」（68.8％）と「土地・建物・設備」（62.9％）と続いている。

また、苦情処理テスト等の内容を「危害に関するもの」「危険に関するもの」および「その他品質・性能等」の3項目に分類すると、その比率は、全体では「その他品質・性能等」が圧倒的に多く62.2％で、「危害」または「危険」に関するものは、両者あわせて37.8％となっている。商品分類別に「危害」「危険」の割合を見ると、「車両・乗り物」が84.8％、次いで「保健衛生品」（73.5％）、「光熱水品」（68.8％）、「住居品」（63.2％）、「教養娯楽品」

表1　苦情処理テスト件数

実施機関 ＼ 商品分類	食料品	住居品	被服品	保健衛生品	教養娯楽品	車両・乗り物	光熱水品	土地・建物・設備	その他の商品	クリーニング（被服品）	クリーニング（その他）	合計
都道府県センター	113	201	89	32	59	22	6	12	12	237	6	**789**
政令指定都市センター	11	61	25	16	22	10	4	14	1	48	0	**212**
市区町センター	25	99	28	22	30	19	6	7	4	73	0	**313**
国民生活センター	2	30	5	13	14	15	0	2	0	0	0	**81**
合　計 ※下段は総件数に占める比率	151	391	147	83	125	66	16	35	17	358	6	**1,395**
	10.8%	28.0%	10.5%	5.9%	9.0%	4.7%	1.1%	2.5%	1.2%	25.7%	0.4%	**100%**
外部依頼件数 ※下段は各商品分類別合計に占める比率	24	232	51	48	71	39	11	22	3	141	0	**642**
	15.9%	59.3%	34.7%	57.8%	56.8%	59.1%	68.8%	62.9%	17.6%	39.4%	0.0%	**46.0%**

(60.8%)、「その他の商品」(41.2%) の順であった（**表２**)。

2 商品テスト

2009年度に都道府県で９センター、政令指定都市で４センター、市区町で５センターおよび国民生活センターで実施された商品テスト（比較・試買テスト等）の総件数は53件であった。テスト機関数は19機関で、2008年度と変わらない。総件数は2008年度より３件減少した（**表３**)。

全機関のテスト件数を商品分類別に見ると、「食料品」18件が最も多く、34.0%となっている。次いで「住居品」14件（26.4%)、「保健衛生品」７件（13.2%)、等であった（**表４**、図)。

機関別に実施状況を見ると、都道府県では「住居品」が９件（39.1%)、「食料品」８件（34.8%）で、この２種類で約74%となっている。一方、政令指定都市では、「食料品」が約60%を占めている。市区町では「食料品」が約78％を占めている（**表４**)。

テストの効率化と相互の技術の向上・交流を図る有効な手段として各消費生活センター間で共同比較テストが行われている。2009年度に行われた消費生活センター間の共同比較テストは、「加湿器」（北陸３県）である。

（商品テスト部）

表2　商品分類別苦情処理テストの内容

商品分類＼テスト内容	危害に関するもの	危険に関するもの	その他品質・性能等	合　計
食料品	17 (11.3 %)	9 (6.0 %)	125 (82.8 %)	**151** **(100 %)**
住居品	89 (22.8 %)	158 (40.4 %)	144 (36.8 %)	**391** **(100 %)**
被服品	21 (14.3 %)	5 (3.4 %)	121 (82.3 %)	**147** **(100 %)**
保健衛生品	44 (53.0 %)	17 (20.5 %)	22 (26.5 %)	**83** **(100 %)**
教養娯楽品	35 (28.0 %)	41 (32.8 %)	49 (39.2 %)	**125** **(100 %)**
車両・乗り物	31 (47.0 %)	25 (37.9 %)	10 (15.2 %)	**66** **(100 %)**
光熱水品	2 (12.5 %)	9 (56.3 %)	5 (31.3 %)	**16** **(100 %)**
土地・建物・設備	5 (14.3 %)	8 (22.9 %)	22 (62.9 %)	**35** **(100 %)**
その他の商品	6 (35.3 %)	1 (5.9 %)	10 (58.8 %)	**17** **(100 %)**
クリーニング（被服品）	4 (1.1 %)	0 (0.0 %)	354 (98.9 %)	**358** **(100 %)**
クリーニング（その他）	0 (0.0 %)	0 (0.0 %)	6 (100.0 %)	**6** **(100 %)**
合　計	**254** **(18.2 %)**	**273** **(19.6 %)**	**868** **(62.2 %)**	**1,395** **(100 %)**

（注）カッコ内は各商品分類に占める比率

表3　テスト件数の推移

年度	苦情処理テスト			商品テスト		
	総件数	対前年度増加率（%）	テスト機関数	総件数	対前年度増加率（%）	テスト機関数
2003	1,450	△15.9	111	124	△3.1	44
2004	1,367	△5.7	115	102	△17.7	37
2005	1,453	6.3	129	86	△15.7	32
2006	1,110	△23.6	139	75	△12.8	25
2007	1,186	6.8	129	62	△17.3	22
2008	1,386	16.9	140	56	△9.7	19
2009	1,395	0.6	141	53	△ 5.4	19

表4　商品テスト件数

商品分類／実施機関	商品一般	食料品	住居品	被服品	保健衛生品	教養娯楽品	車両・乗り物	光熱水品	土地・建物・設備	その他の商品	クリーニング	合計
都道府県センター	0	8	9	3	3	0	0	0	0	0	0	**23**
政令指定都市センター	0	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	**5**
市区町センター	0	7	1	0	0	0	1	0	0	0	0	**9**
国民生活センター	0	0	3	2	4	2	5	0	0	0	0	**16**
合　計	**0**	**18**	**14**	**5**	**7**	**3**	**6**	**0**	**0**	**0**	**0**	**53**
※下段は総件数に占める比率	**0.0%**	**34.0%**	**26.4%**	**9.4%**	**13.2%**	**5.7%**	**11.3%**	**0.0%**	**0.0%**	**0.0%**	**0.0%**	**100%**

図　商品分類別商品テスト年度別件数
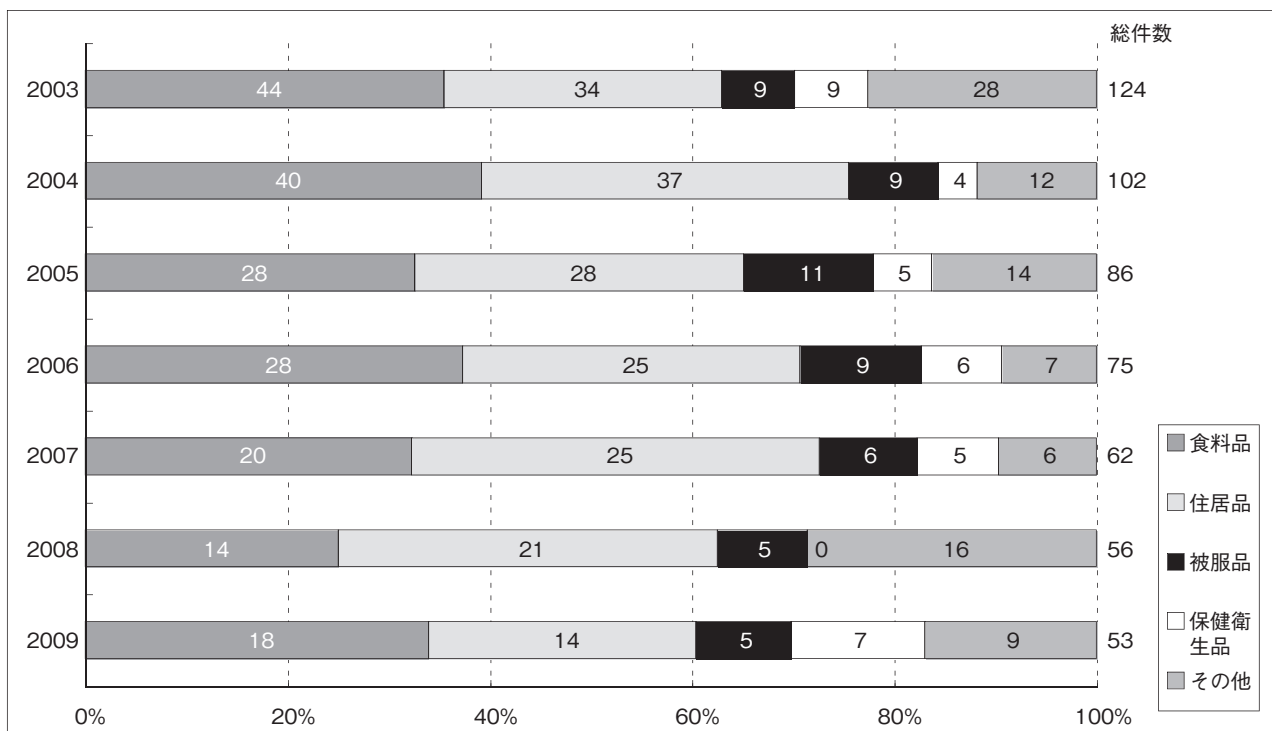
表5　機関別テスト実施状況（件数）

⑴都道府県センター

機関名	苦情処理テスト	商品テスト
北海道	141	6
青森県	9	0
岩手県	3	1
宮城県	0	0
秋田県	0	0
山形県	2	0
福島県	3	0
茨城県	7	0
栃木県	17	0
群馬県	30	0
埼玉県	69	0
千葉県	15	0
東京都	116	0
神奈川県	5	2
新潟県	1	0
富山県	9	1
石川県	33	3
福井県	28	3
山梨県	4	0
長野県	0	0
岐阜県	0	0
静岡県	6	3
愛知県	25	0
三重県	0	0
滋賀県	9	0
京都府	31	0
大阪府	45	0
兵庫県立健康生活科学研究所	43	2
兵庫県東播磨生活科学センター	2	0
兵庫県立西播磨生活科学センター	2	0
奈良県	53	0
和歌山県	3	0
鳥取県	3	0
島根県	8	0
岡山県	2	0
広島県	8	0
山口県	0	0
徳島県	0	0
香川県	0	0
愛媛県	6	0
高知県	0	0
福岡県	6	0
佐賀県	4	0
長崎県	9	0
熊本県	26	2
大分県	0	0
宮崎県	2	0
鹿児島県	0	0
沖縄県	4	0
（合計）	**789**	**23**

⑵政令指定都市センター

機関名	苦情処理テスト	商品テスト
札幌市	0	2
仙台市	0	0
さいたま市	11	0
千葉市	0	0
横浜市	54	1
川崎市	7	0
相模原市	4	0
新潟市	0	1
静岡市	0	0
浜松市	0	0
名古屋市	37	0
京都市	0	0
大阪市	22	0
堺市	2	0
神戸市	33	0
岡山市	0	0
広島市	10	0
北九州市	8	0
福岡市	24	1
（合計）	**212**	**5**

⑶市区町センター

機関名	苦情処理テスト	商品テスト
函館市	0	2
小樽市	2	0
釧路市	2	0
帯広市	2	0
苫小牧市	0	4
千歳市	1	0
滝川市	1	0
清水町	1	0
前橋市	4	0
館林市	1	0
渋川市	1	0
川越市	1	0
川口市	17	0
所沢市	3	0
上尾市	3	0
越谷市	2	0
戸田市	1	0
朝霞市	2	0
新座市	1	0
富士見市	2	0
市川市	1	0
船橋市	1	1
松戸市	1	0
佐倉市	2	0
流山市	3	0
我孫子市	1	0
中央区	1	0
港区	17	0
新宿区	18	0
文京区	1	0
台東区	6	0
墨田区	2	0
江東区	5	0
目黒区	12	0
大田区	20	0
世田谷区	9	0

機関名	苦情処理テスト	商品テスト
中野区	1	0
杉並区	9	0
豊島区	1	1
練馬区	3	0
足立区	7	0
葛飾区	2	0
三鷹市	2	0
府中市	1	0
調布市	15	0
町田市	3	0
清瀬市	1	1
東久留米市	1	0
横須賀市	3	0
平塚市	8	0
鎌倉市	1	0
茅ヶ崎市	2	0
秦野市	1	0
座間市	1	0
かほく市	1	0
福井市	1	0
敦賀市	3	0
越前市	1	0
坂井市	1	0
御殿場市	1	0
袋井市	1	0
豊田市	1	0
小牧市	3	0
津市	2	0
長浜市	1	0
宇治市	1	0
池田市	3	0
吹田市	4	0
高槻市	2	0
貝塚市	1	0
守口市	3	0
枚方市	12	0
寝屋川市	8	0
和泉市	2	0
摂津市	1	0
姫路市	2	0
明石市	3	0
西宮市	8	0
芦屋市	7	0
宝塚市	1	0
三田市	1	0
たつの市	1	0
奈良市	9	0
橿原市	2	0
生駒市	5	0
米子市	1	0
福山市	2	0
廿日市市	1	0
高知市	1	0
小郡市	1	0
長崎市	3	0
鹿児島市	2	0
垂水市	1	0
（合計）	**313**	**9**

商品分類別商品テスト一覧

⑴食料品

	件　　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
食料品一般	非常用食料	大きな自然災害が頻発しており、家庭での防災対策が一層重要といわれている。市販非常用食品の表示、価格、使用性等についてテストした。	福井県
	カップめんの商品テスト	18種類のカップめんの表示記載の確認、天秤計による重量測定、塩分計による塩分を調べる。	苫小牧市
	市販加工食品の指定添加物（着色料）の検出	日常購入される加工食品の指定添加物の着色料の検出と検出方法の検討を行った。	豊島区
穀類	米の新鮮度	古米ではないかと相談があった。 pH指示薬による新鮮度判定。 収穫米（2009秋）、収穫米（2008秋）等と比較テストを実施。	熊本県
	米粉パン・スイーツ　試買テスト	米粉の理解と利用拡大により、米の消費拡大・地産地消をめざす。 アンケート・店頭調査、栄養成分検査、食味と価格の評価。	新潟市
魚介類	鮭の脂肪含有量の測定	パック詰め鮭の脂肪含有量を測定し鮭の購入時の情報提供を行う。	札幌市
野菜・海草	乾燥野菜の残留農薬	近年、インスタント食品の普及に伴い、乾燥野菜の需要が増えている。厚生労働省関係の報告の中に乾燥野菜から数種類の農薬が検出された事例がある。そのため、市販されている乾燥野菜の残留農薬のテストを実施した。	北海道
	豆類	豆や豆の加工品のミネラル含有量を調査。大豆、いんげん豆、あずき等の豆類はカリウム、鉄、亜鉛などを多く含有。煮豆や豆腐などの加工品は加工前の大豆に比べミネラルは少ない量でした。	静岡県
	野菜（共同テスト）	消費者団体との共同研究「地産地消を考える」の一環として商品テストを実施。福岡県産野菜と他県産の野菜の比較テストを行った。 外観検査3項目　食味検査5項目	福岡市
	焼きのり（14点）	カドミウム・鉛	函館市
	とろろ昆布（10点）	カドミウム・鉛	函館市
	よもぎ粉の緑色が合成着色料によるものか否か	合成着色料の有無	清瀬市
油脂・調味料	手作りだしの品質	手作りダシ（煮干し、昆布又はカツオを使用）とダシの素を使ったダシの遊離アミノ酸とミネラルを測定し、消費者への情報提供の一助とする。	北海道
	みそ汁の塩分量	■塩分を控えた食生活の呼びかけのため ■減塩、普通、濃い味の3種を試飲	苫小牧市
果物	みかんの糖度測定	■糖度計に親しむ ■みかんを食べて糖度を予想	苫小牧市
菓子類	ソフトクリームの品質	店頭で販売されているソフトクリームについては食品衛生法の定義がなく成分規格もない。そこで、ソフトクリームの主成分である粗脂肪分と乳脂肪分、脂肪酸組成、糖脂肪分についてテストを実施した。	北海道
	菓子袋	容器の角が90度と丸くカットしたものにより傷の付き方が違うかをみるために進入力の測定検査をし、角が90度のものはカッターの刃と同程度の値のものがあり、丸くカットされたものより鋭利であることを確認した。	兵庫県立健康生活科学研究所
健康食品	栄養補助食品	過剰に摂取すると健康への影響が懸念されているビタミンAとβカロテンを含有するサプリメント12銘柄の成分量を調査した結果、ビタミンAとβカロテン量は商品に記載されているとおりの量でした。	静岡県

⑵住居品

	件　　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
食生活機器	カセットこんろ	古いカセットこんろのガス漏れの再現テストを実施したところ、カセットこんろ側のゴム製リングが経年劣化により硬化したためにボンベとの接合部分でガス漏れを生じていたことを確認した。	兵庫県立健康生活科学研究所
	調理器具の安全性 その1「電気ミキサー」	電気ミキサーで手指にけがを負うという事故事例が寄せられている。電気ミキサーについて、手指のけがを防止するための安全性に着目したテストを行った。	国民生活センター
食器・台所用品	電子レンジ用調理器具	■テストの狙い ・電子レンジ用調理器具について、消費者団体等と共同でテストを行うことにより消費者の目線で商品を判断し商品選択の意識を高め、消費者への情報提供を行う。 ■テスト項目 ・価格　・取扱説明書の有無　・注意喚起マーク絵表示の有無 ・加熱目安時間　・耐熱温度/耐冷温度　・品質表示　・商品表示 ・取扱い上の注意　・味　・使い勝手	横浜市
	調理器具の安全性 その2「スライサー」	スライサーで手指にけがを負うという事故事例が寄せられている。スライサーについて手指のけがの危険性に着目したテストを行った。	国民生活センター
洗浄剤等	炭酸ソーダを用いた洗濯	平成20年度に商品研究会で「重曹を用いた洗濯テスト」を行ったが、重曹を用いても、洗濯での洗浄率の向上はほとんど認められなかった。しかし、当テスト結果から、洗濯液のpH（水素イオン指数）が大きくなる程、洗浄率が向上することがわかった。そこで、自然界に存在し、食品添加物や浴用剤に使われている「炭酸ソーダ」に着目し、家庭洗濯で通常の洗剤を使用した場合と炭酸ソーダを添加した場合の洗浄率などのテストを実施した。	石川県
空調・冷暖房機器	卓上型加湿器の品質	加湿器は加湿量によって適畳が定められている。また、気化式、加熱式、超音波式などがあり、それぞれの方法に特徴がある。そこで、卓上加湿器の性能や安全性を調べ、消費者への情報提供の一助とする。	北海道
	加湿器	加湿器は冬季の暖房による室内の乾燥防止などのために使用されており、いろいろな機能が付いた多種多様な商品が店頭に並べられている。加湿方式には、「超音波式」、「スチーム式」、「スチームファン式」などがあり、最近では、熱い蒸気が出ないと安全性をうたった「気化式」や「ハイブリッド式」が多く見られ、購入の際に迷うことも多い。また、加湿器によるヤケドなどの危害情報もある。このため、加湿方式による特徴や安全性、使用性などについてテストを実施した。 表示、仕様、価格、性能（消費電力、加湿量および加湿効率、電気料金）、安全性（本体各部の温度、転倒試験、安全機能）、使用性	※富山県 ※石川県 ※福井県
	プチ加湿器の試用テスト	手頃な価格のプチ加湿器の使い勝手と効果、電気代を調べる。	苫小牧市
家具・寝具	睡眠時の冷却効果をうたったジェル入りマット	ジェル入りマットには冷却効果が長続きすることを期待させる表示がみられることから、暑くて寝苦しい夜を想定した室内で、モニターによる評価を中心に冷却効果とその持続性を調べた。	国民生活センター
照明器具	LED電球の品質	LED電球は白熱電球よりも電気代、寿命が優れており、蛍光型電球のデメリットがないといわれている。そこでLED電球と参考として蛍光型電球、白熱電球の比較テストを実施した。	北海道
	家庭用電球	白熱電球と同じ明るさとうたった蛍光電球が暗いとの苦情やLED電球は本当にどれくらい省エネになるのかなどの問い合わせが寄せられている。このため、種類の多い60W形相当の家庭用電球について、白熱電球、蛍光電球、LED電球の明るさや省エネ度などの比較テストを実施した。	石川県
他の住居品	家具類の耐震補助器具	近い将来発生が予想される大地震に備え、県民の防災意識を高め、被害を最小限に止めるため、家庭でできる対策として昨年度の「家具類の転倒防止対策器具」に引続き、耐震補助器具である「扉・引出し開放防止器具、ガラス飛散防止フィルム」について、製品の種類、特徴、正しい使用方法などを調査した。	岩手県

⑶被服品

	件　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
子供洋服	乳幼児衣料品のホルムアルデヒド	ホルムアルデヒドは衣料品の接着剤やプリント加工、防縮・防しわ加工に使用されているが、残留すると接触性皮膚炎の原因となる。そこで現在販売されている比較的安価な子供衣料品のホルムアルデヒドの溶出量のテストを実施した。	北海道
洋装下着	肌着の吸汗・速乾性	「吸汗・速乾の表示のある肌着を購入したが、全く汗を吸わない」という相談を受け、バイレック法により吸水速度、拡散性残留水分率で速乾性のテストを実施。 （相談品の他、比較のために肌着4点を購入。）	熊本県
かばん	エコバッグ	エコバッグの商品選択に役立てるため、エコバッグの引張り強度や防水性をテスト。生地が厚いもの、裏地付きのものは引張り強度が大きく、ポリプロピレン素材のエコバッグは防水性が高いという結果が出た。	静岡県
アクセサリー	体に良いとうたうゲルマニウム使用のブレスレット	高純度のゲルマニウムを使用した旨の表示があり、体に良いとイメージさせる販売価格15,000円未満のゲルマニウムブレスレットについて、ゲルマニウムの含有量の他、金属や鉛等の溶出がないか調べた。また、うたい文句に関する科学的根拠も調査した。	国民生活センター
	子どもが使用することのあるアクセサリーに関する調査結果	消費者庁から輸入品の子どもが身につける可能性のある金属部分を含むアクセサリーについて、カドミウムの溶出量に関する調査依頼があったためテストを実施した。さらに、鉛についても併せて調べることとした。	国民生活センター

⑷保健衛生品

	件　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
医療用具	ソフトコンタクトレンズ用消毒剤のアカントアメーバに対する消毒性能	コンタクトレンズ装用による眼障害の中で近年増加しているとされるのがアカントアメーバ角膜感染症である。ソフトコンタクトレンズ用消毒剤のアカントアメーバについての消毒効果を調べるとともに、ソフトコンタクトレンズの使用実態と衛生状態の調査を行った。	国民生活センター
理美容器具・用品	美顔器の安全性調査	美顔器を使用して、肌あれやかぶれが発生したとの相談事例があり、その原因として金属アレルギーの可能性が考えられるため、美顔器に人工の汗を使用し、アレルギーを起こしやすいといわれている金属の溶出試験を実施した。 ニッケル、コバルト、クロム、ゲルマニウムなど12金属	神奈川県
他の保健衛生品	トイレの詰まり原因調査	便器洗浄用などの紙類等は、トイレに流せるとの振れ込みで消費者の間に普及しているが、実際に流すと詰まりを起こすことなども聞くため、トイレに流す可能性のある紙製品の水に対するほぐれやすさにより、どのようにしてトイレが詰まるのか調査した。 水に対するほぐれやすさ（トイレットペーパーの水に対するほぐれやすさに関する規格（JIS P4501）に準じて実施）	神奈川県
	大人用紙おむつ	高齢化が進み排泄ケアに不可欠な大人用紙おむつの需要が年々増加しているが、使用者の体型や身体の状態、介護方法等を考慮すると、多種多様な大人用紙おむつを前に迷うことも多い。表示や価格、品質についてテストした。	福井県
	家庭用オゾン発生器の安全性	オゾンは酸化力が強いため、高濃度のオゾンに曝露されると身体への影響も大きい。家庭用のオゾン発生器（空気中と水中の両方で使用できるタイプ、空気中のみで使用できるタイプ）を対象に、使用時に周囲のオゾンが高濃度にならないか、また、表示が適切であるかも調べた。	国民生活センター
	電子レンジやIHヒーター等で加熱する湯たんぽの安全性	電子レンジやIHヒーター等で加熱できる湯たんぽについて、どのような使用状況で事故となるのか、また、製品に事故を防止するための対策があるのかなどを調べた。	国民生活センター
	ウイルス対策をうたったマスク	「ウイルス99%カット」など、ウイルス対策をうたった商品が多く見受けられる。マスクのフィルター部の性能や着用時にできる顔とマスクの隙間から空気がどの程度漏れるのか等を調べた。	国民生活センター

⑸教養娯楽品

	件　　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
玩具・遊具	湯温計	湯温計の適温表示をテストし誤差がどの程度あるかを調査	札幌市
他の教養娯楽品	犬用リードの強度	様々なリードについて、強度を調べるとともに強度に関連する表示の内容を調べた。	国民生活センター
	水槽用ヒーターの空焚きによる火災に注意！	サーモスタットが不要なオートヒーターを対象として、水槽用ヒーターが空焚き状態になった時のヒーターの温度などについて調べた。	国民生活センター

⑹車両・乗り物

	件　　名	テストのねらいまたはテスト項目	実施センター
自動車用品	乗用車用フロアマットのアクセルペダル等への影響に関する調査結果	消費者庁からフロアマットがアクセルペダル等にどのように干渉するのか、干渉した場合の危険性についての調査依頼があったためテストを実施した。	国民生活センター
自転車・用品	自転車の荷台の強度	自転車の荷台に幼児座席を取り付けて使用したとき、荷台の強度に問題が発生しないかテストするとともに、荷台の強度に関する表示内容を調べた。	国民生活センター
	折りたたみ自転車（スポーツタイプ）のハンドルの固定力不足に注意！	重大事故が発生した折りたたみ自転車と同様の構造の5銘柄をインターネット通信販売で購入し、ハンドルステムの固定について調査して、消費者へ情報提供することとした。	国民生活センター
運搬用具	ベビーカー（輸入品）	ベビーカーに子供を乗せ道路を押していたときに、後輪付近のフレームのネジが外れた。外れた原因の調査。	船橋市
	歩行補助車（シルバーカー）の安全性	使用状況を想定したモニターテストを実施するとともに歩行補助車の構造、安全性、耐久性などを調べた。	国民生活センター
他の乗り物	公道走行できるという四輪バギーの安全性	公道走行できることがうたわれた四輪バギーをインターネットで購入し、商品受け取り時の状態、保安基準への適合、品質などを調査した。	国民生活センター

※印は、共同比較【試買】テスト